Panasonic

（一般屋内用）

iDシリーズ　高天井用照明器具

施工説明書
取扱説明書
保管用

本体品番	適合ライトバー	明るさ	ライトバー品番
NNLK(H)42590J	高天井専用集光プリズム	6900 lm 省エネタイプ	NEL4607HN LE9
		5200 lm 省エネタイプ	NEL4507HN LE9
		10000 lm 一般タイプ	NEL4000TN LE9
		6900 lm 一般タイプ	NEL4600TN LE9
		5200 lm 一般タイプ	NEL4500TN LE9

・上記（　）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）
・本照明器具はパナソニック製 iDシリーズ・ライトバーの組み合わせで性能を満足します。
・上記表以外のライトバーをご使用の場合は、ライトバーに同梱の説明書を参照してください。
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠警告

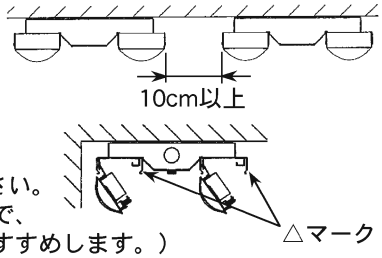
●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
●本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
●天井直付専用器具です。指定外取付は落下の原因となります。
●この器具は一般屋内専用です。直射日光の当たる場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動の強い場所、粉じんの発生する場所では使用しない。
落下・感電・火災の原因となります。
●ライトバーは単独で使用しない。必ずパナソニック製 iDシリーズ専用本体とライトバーの組み合わせで使用する。
落下・感電・火災の原因となります。
●ライトバーのカバーはポリカーボネート製のため、直射日光の当る場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、ヘキサンやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しない。カバーの落下・破損の原因となります。
●ライトバーが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
●電源線はライトバーに同梱の耐熱チューブを使用する。感電・火災の原因となります。（10000 lm の場合）

⚠注意

●周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。
●ライトバーのカバーは樹脂製のため、取り扱いに注意してください。
破損によるけがの原因となります。万一破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
●器具の取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

・一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合や早期不点灯になる場合があります。（一部の食品や薬品・紙類また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）
・密集取付しないでください。過熱による故障の原因となります。
・ライトバーの取り付けには方向性があります。壁面付近に取り付ける場合、本体の△マークを室内側にしてください。
・電源線の引き込み穴は余分な電源線を天井裏に押し込むため、天井裏には障害物がないようにしてください。
・器具内の送り配線はできません。電源線の器具間送り配線は、電源線を天井裏に戻して配線してください。電線管を使用する場合、あらかじめ分岐し、エンドK.Oより配線してください。
・スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後もライトバーが薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取り付けてください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。）



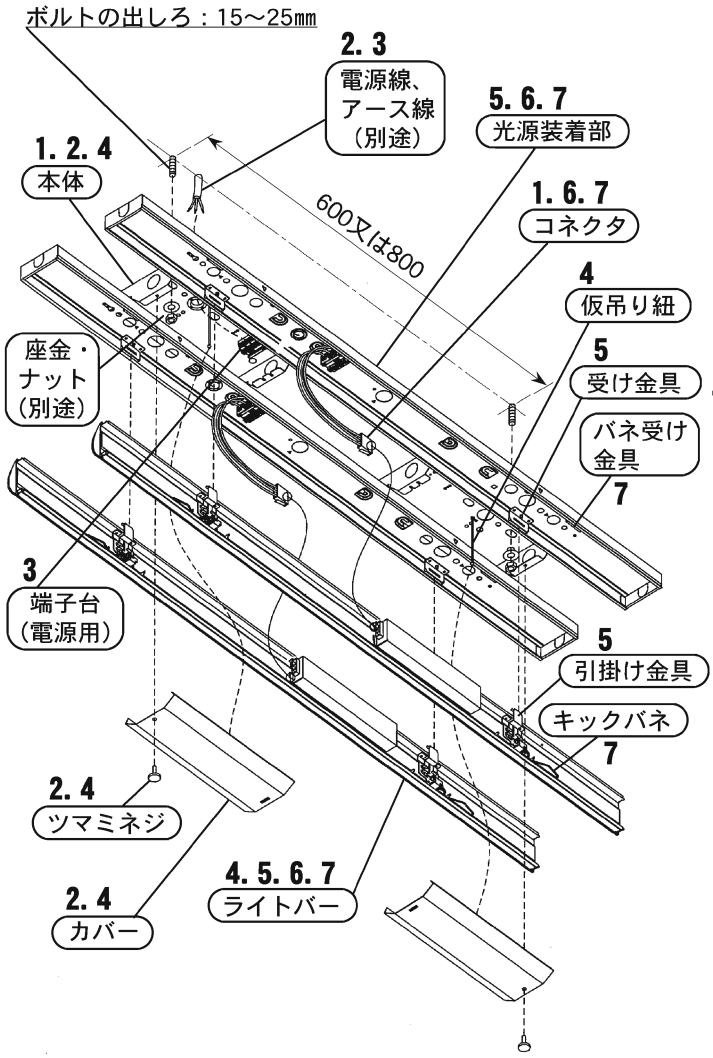
・バーコードリーダーの機種によっては器具付近で使用した場合、読み取り感度が低くなることがあります。この場合には、器具との距離を離すか、遮蔽するなどの対策を講じてください。
・高天井専用集光プリズムライトバーは、光源が直接視界に入る高さに設置するとLED光源がまぶしく感じることがあります。
・高天井専用集光プリズムライトバーは、専用器具本体との組み合わせで使用してください。
1本使用の場合、使用場所によっては照射面のムラ（陰影のスジ）が発生する場合があります。
・電源方式により騒音（うなり）の発生や電源遮断時の点滅が発生する場合がありますので、以下の配線を行ってください。
電源と器具間にスイッチを設ける場合は、必ず非接地側（充電側）に取り付けてください。
（接地極のない電源では両切りスイッチをおすすめします。）
三相電線を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。

各部のなまえと取付方法

⚠警告

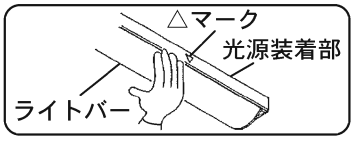
施工は施工説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
ライトバーの取り付け・取り外しは必ず電源を切る。

・器具の取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。



■ライトバーを取り外す場合

1. 光源装着部の△マークを目印に、手でライトバーを引き下げる。
工具でこじ開けると、ライトバー破損の原因となります。
2.キックバネを光源装着部のバネ受け金具から外す。
3.コネクタを外す。
4.ライトバーの引掛け金具を光源装着部から外す。

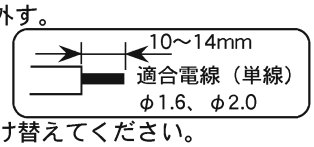


1 取付前の確認

・既設器具取り替えの場合、周辺機器の電気容量を確認する。
・器具質量（5.1kg：NNLK42590J+10000lmタイプライトバーの場合）に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。（取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。）
・本体に仮止めしているコネクタを外す。
不備がありますと器具落下、感電・火災の原因となります。

2 本体の取付

・ツマミネジを外してカバーを取り外す。
・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・エンドK.Oを使用する場合は、必ず電源ブッシング（φ26）を付け替えてください。
・本体を取付ボルトで確実に取り付ける。（推奨トルク値1.5N・m）
不備がありますと器具落下の原因となります。



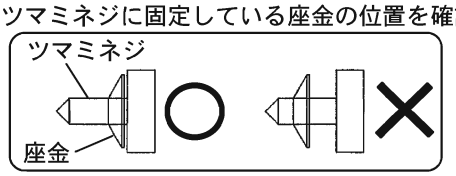
3 電源線・アース線の接続

・電源線、アース線を確実に差し込む。
・D種（第３種）接地工事が必要。
・端子台の最大送り容量は右表の通りです。（送り機能付）
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、感電・火災の原因となります。

明るさタイプ	容量
10000 lm	8A
6900 lm	12A
5200 lm	13A

4 仮吊り紐の取付

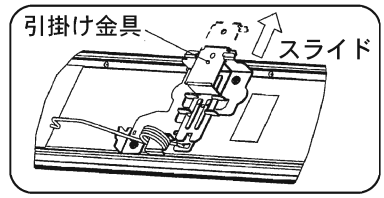
・仮吊り紐をカバーの穴に引っ掛ける。
・ツマミネジに固定している座金の位置を確認する。



・カバーを本体にスライドさせて引っ掛け、ツマミネジで確実に取り付ける。
取り付けが不完全な場合、 カバー落下の原因となります。

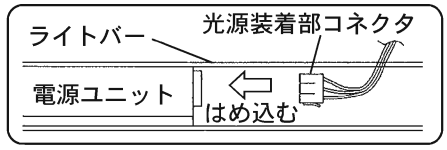
5 ライトバーの引掛け

・ライトバーの引掛け金具をフレームに当るまでスライドさせ、光源装着部の受け金具の角穴に片側ずつ確実に引っ掛ける。
取り付けが不完全な場合、ライトバー落下の原因となります。



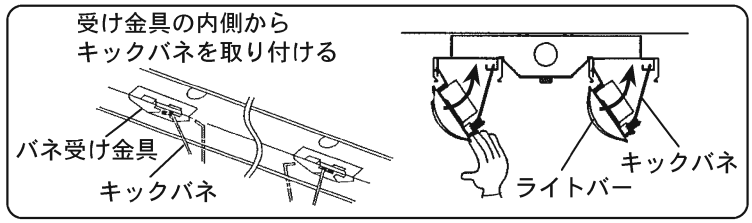
6 コネクタの接続

・光源装着部とライトバーのコネクタを確実に接続する。「カチッ」と音がするまではめ込んでください。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。



7 ライトバーの取付

・ライトバーのキックバネを光源装着部のバネ受け金具に確実に取り付ける。
・コネクタを挟まないようライトバーを光源装着部内へ押し上げる。
不備がありますとライトバー落下の原因となります。



取説No. NNLK42590J-T4

耐熱チューブの取り付けかた（10000 lm の場合）

※電源線にエコケーブル（EM-EE）を使用する場合は、耐熱チューブを使用しなくても問題ありません。施工説明書の「電源線・アース線の接続」に従って施工してください。

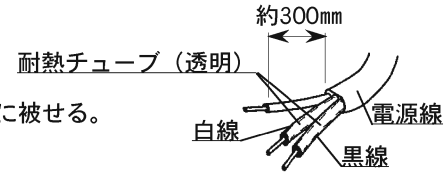
⚠警告

- ●耐熱チューブは下記に従い確実に取り付ける。
  不備がある場合、感電・火災の原因となります。
- ●電源送り配線を行う場合は、電源線・送り線ともに取り付ける。

注）分岐部分は天井裏にくるようにしてください。

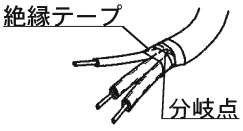
1　耐熱チューブの取付

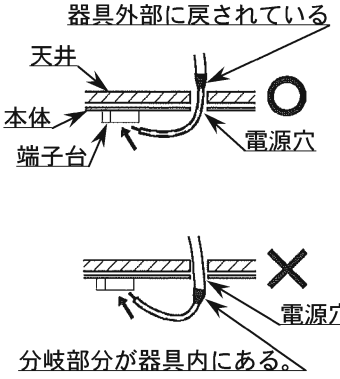
・電源線のシース部を剥く。（約300㎜）
・同梱の耐熱チューブ（透明）を電源線（白・黒）に被せる。
　注）根元まできっちり差し込んでください。
　　アース線への取り付けは不要です。



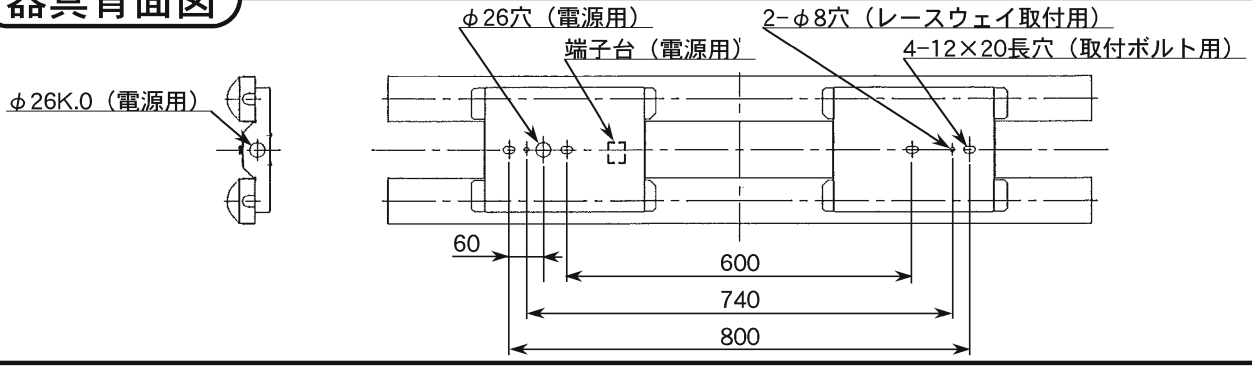
2　分岐点の保護

・分岐点（保護チューブの被ってない箇所）に絶縁テープを巻き付け保護する。
・結線後、電源線を電源穴（天井裏）に押し込む。





器具背面図



取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- ●必ずパナソニック製 iDシリーズ専用本体とライトバーの組み合わせで使用する。
  落下・感電・火災の原因となります。
- ●本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ●ライトバーのカバーは樹脂製のため、取り扱いに注意する。
  破損によるけがの原因となります。万一破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ●ライトバーが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
  そのままで使用すると、落下・感電・火災の原因となります。

⚠注意

- ●光源として高輝度LEDを使用しています。光源部（ライトバー部） を長時間直視しないでください。
- ●ライトバーを取り外す場合は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- ●お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- ●シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- ●照明器具には耐用年限があります。
  設置して10年（※）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
  - ・LED光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯しつづけます。点灯できるからといって継続して使用可能というわけではありません。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
  - ・周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
  - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
    3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。（チェックシート番号：CLX2021HA）
    点検せずに長時間使い続けると、まれに落下・感電・火災に至る場合があります。
  - ・点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、落下・感電・火災に至る場合があります。

■LED照明器具の光束維持時間は、40,000時間（光束維持率85％）です。

取説No.　NNLK42590J-T4

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機などの誘導無線を使用すると雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや部品劣化により耐用年限が短くなります。
また光束低下の原因となります。
・LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のライトバーでも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
・電源電圧変動の影響により瞬間的に明るくなったり、暗くなったりする場合があります。あらかじめご了承ください。
・点灯させる際に、明るくなるまでの時間や動作がライトバーの品種により異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
・点灯直後、消灯直後などの温度変化によってプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、
故障や異常ではありません。
静かな環境や密集取り付け、密閉取り付けでご使用の場合、きしみ音が気になる場合があります。
このような場合は直管LEDなどのプラスチック製カバーのないタイプをおすすめします。

保証について

・保証について……この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間……弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

・器具の清掃について……・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠注意

●感電のおそれあり。
お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
●ライトバー破損のおそれあり。
ライトバーのカバーは樹脂製です。
取り扱いに注意してください。
●やけどのおそれあり。
点灯中や消灯直後はライトバーやその周辺をさわらないでください。

■定格
・ライトバーに同梱の説明書を参照してください。
・消費電力と入力電流の値は、ライトバー2本の合計となります。

■リサイクル　照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　照明器具・ランプ商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/
0120-187-441（フリーダイヤル）【受付時間】月～土/9:00～18:00（祝日・三が日を除く）※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460（FAX）

SD0421-040426